

女性議員増やそう！ 地域の活動着々成果

女性議員を増やそうという機運が高まっている。背景には、有権者や女性自身の意識の変化とともに、女性の政治リーダーを育てる講座などの地道な活動がある。

香川・鹿児島県議も2割「土壌耕した結果」

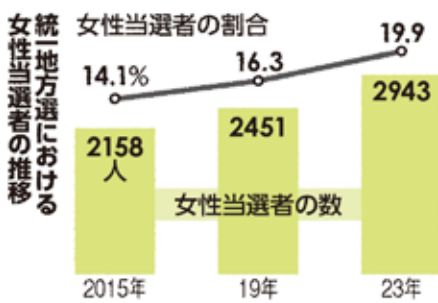
13日夜、女性政治家が集うイベント（パリティ・アカデミーなど主催）がオンラインで開かれた。4月の埼玉県越谷市議選で3回目の当選を果たした山田裕子さん(40)が参加し、「議員ほど心を燃やせる仕事はない。ハラスメントやバッシングもあるが、仲間がいれば乗り越えていけるし、女性議員が増えれば変えていける」と語った。

今春の統一地方選では女性性が躍進した。当選者に占める女性の割合は、前々回の2015年14.1%▽前回の19年16.3%▽今回の23年19.9%と、少しずつだが着実に増えている。

今回の41道府県議選では、香川(女性比率22.0%、女性当選者9/定数



女性政治家が集うオンラインイベントで発言する山田裕子・埼玉県越谷市議(左下) 11月7日13日夜



統一地方選における女性当選者の推移

41)▽岡山(21.8%、12/55)▽京都(21.7%、

政治スクールから15人当選

福岡の団体「探し育て送り出す」

13/60)▽鹿児島(21.6%、11/51)——と4府県で議会の女性比率が2割を超えた。17政令指定市議選では、札幌(30.9%、21/68)と浜松(30.4%、14/46)で3割を超えた。ジェンダーと政治に詳しく

い三浦まり・上智大学教授は「都市部と地方で二極化が進むなか、香川や鹿児島県の議選で女性当選者が2割に達したのは画期的な出来事だった。熊本県議選でも女性が1人から5人に増えたほか、各地で女性が上位当選するなど、地殻変動を感じると指摘。「鹿児島県内の女性議員を100人にする会」(代表・平神純子南さつま市議)など、「各地の女性ネットワーク」が土壌を耕してきた結果だ」と言う。



「女性のための政治スクール」の様子 11月20日22年6月、福岡市、福岡・女性議員を増やす会提供

「女性のための政治スクール」を続け、今回の統一選で「19人立候補、15人当選」という大きな実績をあげたグループがある。福岡市の「福岡・女性議員を増やす会」(富永桂子代表)だ。理事の三好久美子さんは女性運動に長年携わり、女性議員を増やす啓発活動もしてきた。だが、「候補者男女均等法」が18年に施行されるのを機に「『探し育て、送り出す』という具体的な取り組みが必要だ」と痛感した。同年、藤田一枝・元衆議院議員らと会を立ち上げ、政治スクー

ルを毎年度開く。受講者は県議会を傍聴し、地方議会で活躍する女性議員の体験を聞くほか、「リーフレットを作ろう」「思いを伝えるSNS・スピーチ」など実践的なプログラムをこなす。三好さんは「政治に対して『ドロドロして権力争いばかりしている』というイメージを抱いている人も多い。『議員はやりがいのある仕事だ』という前向きなメッセージを伝えるよう努めている」と語る。政治スクール受講者は、19年の統一選で7人が初当選。今回



地域の高齢者サロンで活動する勝見美代さん 11月20日22年7月、福岡市、本人提供

は新顔9人を含む15人が当選した。大分県日田市や長崎市など、県外の議会選挙でも当選している。福岡市の勝見美代さん(57)は、市青少年育成連絡会の会長を務めるなど、地域活動に取り組んできた。18年に政治スクールを初めて受講し、19年の市議選(西区、定数8)に立ったが次点で落選。20年度からの3カ年、改めて受講し、今回の市議選で初当選した。勝見さんは、他の受講生のスピーチを聞きながら「自分がぶつかっている壁に気づかされた」と振り返る。「『住みやすい街を』という思いを訴えるばかりで、具体的に何をすれば伝えられていなかった」。立候補を迷う仲間が決心を固めていく様子を見て、「『政治は男性のもの』という意識を変える場所になっている」とも感じた。今年度の政治スクールは8月に開講する。問い合わせは福岡・女性議員を増やす会(092・822・6081)へ。(二階堂友紀)